OBTPおよびPeople Presence Detectionを使用したWebEx会議室デバイスのチェックインおよびチェックアウト機能の動作のトラブルシューティング

内容

問題

会議室の予約に対するチェックインとチェックアウトのオプションが、会議に参加する前とコールを終了した後のWebex会議室デバイスで一貫して表示されませんでした。この機能は断続的に表示されましたが、クラウドビデオ相互運用機能(CVI)を使用してスケジュールされたMicrosoft Teamsの会議の一部にオプションが表示されませんでした。 コンフィギュレーションガイドを使用してルームブッキングのチェックイン/チェックアウト機能をテストしたところ、適切な設定が有効になっていても、予定されたチェックインのボタンが予定された会議の5分前に表示されず、一部の会議の終了後にチェックアウトオプションが欠落していました。

環境

- RoomOS 11.34.1.2（安定チャネル）を実行するシスコルームキット
- Cisco Room Navigator（内部配置、直接接続）
- 共有モードで構成されたデバイス（ワークスペース）。
- OBTPを使用したCVI経由でのMicrosoft Teams会議のスケジュール（ワンボタン機能）
- Webex会議サイト統合によるスケジューリングの有効化
- ホットデスキングが無効です。
- 人のプレゼンス検出が有効になりました。

解決方法

チェックインおよびチェックアウト機能の動作は、OBTPのプレゼンス、Room Navigatorの配置、ユーザのプレゼンス検出、会議期間など、いくつかの要因によって異なります。この問題を解決するには、機能の口ジックを理解し、特定の条件下でテストする必要がありました。

設定の確認

次の設定が正しく有効になっていることを確認します。

```
*c xConfiguration Bookings CheckIn Enabled: True
*c xConfiguration Bookings CheckIn WindowDuration: 10
*c xConfiguration Bookings AllowDecline: All
```

チェックイン機能の動作

チェックインボタンの動作は、会議タイプとルームナビゲータの配置に基づく特定の規則に従います。

- OBTPを有効にした会議の場合：チェックインボタンは、Room Navigatorデバイスの外部にのみ表示され、Room Navigatorデバイスの内部には表示されません。
- OBTPを使用しない会議の場合：チェックインボタンは、ルームナビゲータデバイスの内部と外部の両方に表示されます。
- 自動チェックイントリガー：人のプレゼンスが検出されたとき、コールに参加したとき、または画面共有が開始されたときに、デバイスが自動的にチェックインします。

フィーチャのチェックアウトの動作

チェックアウトのオプションは、会議の期間と参加者のプレゼンスに基づいて表示されます。

- 会議時間の要件：チェックアウトオプションは、5分以上続く会議にのみ表示されます。
- 会議の早期終了：会議が5分より前に終了した場合、チェックアウトオプションは表示されません。
- 人のプレゼンスへの影響：会議中に人のプレゼンスが検出されると、デバイスで自動チェックインが行われ、チェックアウトの動作に影響が及びます。

チェックアウト機能のテスト手順

チェックアウト機能を確認するには、次の手順に従います。

ステップ1:OBTPを使用したMicrosoft Teams会議を20分以上スケジュールします。

ステップ2：デバイスに参加ボタンが表示されるまで待ちます。

ステップ3:会議室に入り、OBTP経由で会議に参加します。

ステップ4：会議に5分以上参加します。

ステップ5:6分に会議をエンドポイントから切断します。

ステップ6：切断後にチェックアウトオプションが表示されることを確認します。

人のプレゼンス検出の影響

ユーザのプレゼンス検出は、ログに示されているように、機能の動作に影響します。

```
2025-11-27T12:39:12.062+10:00 main[2275]: PeoplePresence I: setPeoplePresence state:No --> Yes  reason:
```

人のプレゼンスが検出されると、デバイスは自動的にチェックインするため、手動チェックアウトオプションが表示されなくなります。

原因

矛盾した動作は、チェックインおよびチェックアウト機能を制御するロジックが複雑なために発生します。このロジックは複数の要因に依存します。

- OBTPプレゼンス：チェックインボタンは、会議の招待状でOBTPが有効になっている場合にのみ、ルームナビゲータデバイスの外部に表示されます。
- 人のプレゼンスの検出：部屋の中で人が検出されると自動チェックインが行われ、手動のチェックアウトオプションが防止されます。
- 会議時間：チェックアウトオプションは、5分以上の会議にのみ表示されます。
- Room Navigatorの配置：Inside専用のRoom Navigator設定では、OBTP対応の会議のチェックインの表示が制限されます。

関連コンテンツ

- 共有モードデバイスの会議室予約を有効にする
- ルームキットアドミニストレーションガイド

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。